

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 180 9月号

2020年9月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館



読書と私 No.170

「図書館大好き」

御津町 土井 加奈子

「今日は何冊？」毎晩の娘からの言葉。娘が生まれてからの読み聞かせは大切な時間。どこに行く（泊まる）にも鞆には絵本が入っている。図書館の本専用ケースから娘が選んだり「ママが好きなのでいいよ」と言う時も。毎週のように図書館に通い、選ぶ本も絵本から娘の成長に合わせ、文字の多い絵本や話が長めの物語も増えてくる。初めて読んだ物語は『番ねずみのヤカちゃん』『はじめてのキャンプ』何度読んでも同じ所で笑いが出る。文字を覚え出してから、自分で読みたがったり、疲れると「1ページずつ交代で読もう」となる。分からない言葉等が出てくると、分かるまでとことん聞いてくる。話が全て絵で書かれている訳ではないので、娘にとって見聞きした事がないものを理解し想像できるように説明する事がなんと難しいことか。

最近“図書館ごっこ”にはまっている。その遊びとは、借りた本や自宅の本を部屋のあちこちに並べ、司書役、お客役に分かれる。司書役が貸出カウンターで使う物は娘が厚紙で手作り。おかしいのが司書の方の言葉をそのまま真似る。「延長されますか」「ご予約の本がご用意できています」等。娘の満足気な表情を見ながら、鋭い観察力とは好奇心の大きさの現れだなと思う。「おさるのジョージ」みたい。

7歳の娘にとって図書館とは、どんな本に出会えるかワクワクしながら好きなだけ好きな本を読める楽しさに満ちている所。今後、大人へと進む中で将来への悩みや様々な疑問に戸惑った時、図書館の本棚に並べられている本達が必ず相談にのり、考え、答えを見出す為の道標となってくれるはずだ。



『番ねずみのヤカちゃん』

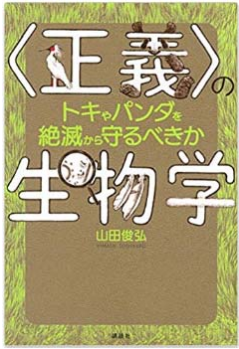
リチャード・ウィルモア 作

松岡 享子 訳 福音館書店

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『正義の生物学 トキやパンダを絶滅から守るべきか』

山田 俊弘 著 講談社 272ページ 2020年6月刊



現在、100万種以上の動植物が絶滅の危機に瀕しているという。本書は、トキやパンダなど絶滅寸前の生き物たちを絶滅から守るべきか否か、また、その理由は何かという問いかけから始まる。大学で保全生物学を教える著者が、その前提となる考え方を解き明かしていく。

先の問いに対して、多くの学生からは「守るべき」それは「生態系のバランスが崩れると人類にも悪影響がでるから」とか「生き物の恵みを楽しめなくなるから」という答えが返ってくる。しかし、この回答には人間の役に立たない生き物は守る必要がないという危うい考えが潜んでいるという。また、「絶滅も自然の過程の一部。よって守る必要はない」という回答には、進化したヒトが、開発や技術革新という歴史の

中で招いている大規模な絶滅は自然といえるのかと問う。また、「強いものが生き残るのは自然の摂理ではないか」という回答に対しては、ダーウィンの「生存競争論」は種を越えるものではないことや、社会的不公平や差別を正当化した「社会ダーウィニズム」を例に取り、「強いものが生き残る」は免罪符にはなりえないという。

著者は、それぞれの回答の不合理な部分を指摘した上で、生命中心主義—あらゆる生き物の命は平等に重要なものだという持論に至る。そして、生物多様性の保全は、「損か得か」ではなく「正義」つまり正しい行いであるかどうかを判断基準にして行い、天然痘のウイルスのように人間にとって不都合なものさえも保全していくことに意味があると述べている。

今後、ヒトがこの地球上で生きていく上で、他の生き物の命といかに向き合うかを改めて考えさせてくれる1冊である。

(御津図書館 藤川)

※申込、問い合わせは各図書館まで

トピックス

※イベント等参加時には、マスクの着用をお願いします。

新宮図書館・揖保川図書館

絵本原画巡回展「のさかゆうさくの世界」

『どろだんご』や『にゅうどうぐも』などの絵本を多数描かれている野坂勇作氏の絵本原画展を開催します。

【日程】①揖保川図書館 9月10日(木)～9月22日(火)

②新宮図書館 9月26日(土)～10月5日(月)

【場所】①揖保川図書館 入り口付近

②新宮図書館 入り口付近



『にゅうどうぐも』

野坂 勇作 作

根本 順吉 監修

福音館書店

御津図書館

どろだんごを作ろう！

どろだんごを作って野坂勇作氏の絵本の世界を体験してみませんか？

【日程】9月12日(土)

10時15分～11時30分

【場所】御津図書館 玄関横及び多目的室

【対象】5歳以上(未就学児は保護者同伴)

【定員】5組(先着順・要申込)

【持ち物】汗拭きタオル、お茶

新宮図書館



絵本を英語で楽しもう！

子どもたちにおなじみの絵本を、英語で読み聞かせします。

日本語と英語の読み比べや、簡単で楽しい英語ゲームも行います。

【日程】9月27日(日)

【時間】①10時～10時30分 ②11時～11時40分

【対象】①4歳児～小学2年生とその保護者 ②小学3年生～6年生

【定員】各回15人(先着順)【講師】矢野 リエ 氏(たつの市国際交流協会 理事)

【申込み】新宮図書館カウンターまたは電話

『こぶたのバーナビー』

U・ハウリハン さく やまぐち まさこ やく 福音館書店



森のはずれの小さな家に住んでいるこぶたのバーナビーのところに、お婆さんから6ペンス玉ひとつと手紙が届き、これで風船を買うようにと書いてありました。バーナビーは喜びましたが、風船がどんなものか知りません。そこで、町へ行って誰かに聞いてみることにしました。まずうさぎに出会い、丸くてふくらんでいて赤いものと教えてもらいました。次に黒い犬に出会いました。黒い犬は、丸くてふくらんでいて赤いものと聞いて、赤いりんごがある八百屋さんに行くといいと教えてくれました。そこで八百屋さんに行くと、風船はおもちゃ屋さんにあると言われました。バーナビーがおもちゃ屋さんに行くと、女の人が小

さなぐにやぐにやしたものをを見せてくれました。しかし、それは丸くてふくらんではいません。がっかりしたバーナビーの目の前でおもちゃ屋さんは、小さな青いぐにやぐにやをつまみあげると「ぷーっ、ぷーっ」と息を吹き込みました。それは少しずつふくらんで丸くなっていきました。バーナビーは6ペンス玉で青い風船を買い、世界で一番好きなのはまあくふくらんだ青い風船、と言いながら家へ帰って行きました。

淡い色と素朴な黒い線で描かれたバーナビーの表情は豊かで、自分が風船を買いに出かけているようなときどきわくわくした気持ちになります。読んであげるなら4歳くらいから。(御津図書館 竹内)

『カイウスはばかだ』

ヘンリー・ウィンターフェルト 作 関 楠生 訳 岩波書店



舞台は古代ローマ時代。7人の少年たちが通う、クサントス学校は、ローマで一番授業料が高く、一番優れた文法学校で、お金持ちの貴族でなければ子どもをそこにいれることができません。そのために生徒は少ししかいません。少年たちの名前は、ムキウス、ルーフス、カイウス、プブリウス、ユリウス、フラウィウス、アントニウスといえます。

ある日、カイウスの悪ふざけに腹をたてたルーフスが、ちょっとした仕返しのため「カイウスはばかだ」と書いた書字版を壁にぶらさげたことから、思わぬ事件へと発展します。次の朝、少年たちが学校へ行くと、クサンチップス先生が来ていません。心配した彼らが家に様子を見に行くと洋服ダンスの中に縛られた先生を発見します。先生が強

盗に襲われたのです。その事件のあと、少年たちがミネルウァ広場にある神殿に行くと、白く塗った壁の上に、真っ赤な色で、「カイウスはばかだ」と書きなぐられた落書きがありました。その「カイウス」という名前から、ルーフスが疑われ、神殿を冒涇したと監獄に入れられてしまいます。少年たちは無実を訴える仲間を助けようと、危険を顧みずに犯人捜しを始めます。ある日老人が現れて、犯人の手掛かりだとする、ルーフスからのことづて「赤いオオカミからヒツジの皮をはぎとる」という言葉を伝えます。それを手掛かりに少年たちは、真犯人を辿ります。

犯人に迫る場面では、ハラハラさせられますが、それぞれの登場人物のユーモアあふれる言動に、ほっとする場面もあります。小学校高学年くらいから。

(揖保川図書館 河部)



9月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

19日(土)
11時～11時20分
『かばくん』他

揖保川図書館

【対象】3～4歳児、保護者
12日(土)・19日(土) 10時30分～10時50分
『どろだんご』他

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

12日(土)・20日(日)・28日(月)
11時～11時20分
『なーんだ なんだ』他

御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者
13日(日)・20日(日) 11時～11時20分
『どろだんご』他
【対象】5歳児～
13日(日)・20日(日) 11時30分～11時50分
『でんちゅう』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

5日(土)・12日(土)・19日(土)・26日(土)
10時15分～10時45分
『やまなしもぎ』他

揖保川図書館

12日(土)・19日(土)
11時～11時30分
『ポケットのないカンガルー』他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

11日(金)
10時～11時30分
『魔法使いの涙』
原田 マハ 著

揖保川図書館

4日(金)
10時～12時
『帰郷』
浅田 次郎 著

御津図書館

16日(水)
13時30分～15時30分
『悼む人』
天童 荒太 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

10日(木) 10時～11時30分
『しずく的首飾り』ジョーン・エイキン 著

特別館内整理日について(休館のお知らせ)

龍野図書館:9月25日(金)～10月6日(火)

揖保川図書館:10月7日(木)～14日(水)

※他の2館の日程は10月号に掲載します。

館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

児童展示 食べ物えほん

今年は「読書の秋」と「食欲の秋」を一緒に、図書館で味わってみませんか？おもわず手を伸ばしたくなるような、素敵な食べ物が登場する絵本を集めました。

【期間】9月24日まで

新宮図書館

人生100年時代

～よりよく生きるために～
年齢を重ねても、充実した毎日を送りたいものです。老いと向き合いながらも、おしゃれや趣味を楽しみ、学び続ける人生を応援する本を集めています。

【期間】9月28日まで

揖保川図書館

のさかゆうさくの世界 絵本原画巡回展

絵本作家の野坂勇作さんの絵本原画巡回展に合わせて作品を紹介します。自然をダイナミックに描く独自の世界観をお楽しみください。

【期間】9月29日まで

御津図書館

備えあれば...

慌ただしい昨今、こんな今だからこそ、「備えあれば...」をテーマに本を集めました。防災はもちろんですが、老後や健康、毎日の家事での「備え」にまつわる本を紹介しています。

【期間】9月29日まで